

2 水はどこから来たのでしょうか？

東三河の水マップで場所を見つけよう！

わたしたちが使っている水道の水は、ダムの水、川の水（水源林）、地下水を水源としています。

(1) ダムの水

わたしたちのすむ豊橋市には、豊川という大きな川があります。豊川には宇連ダムや大島ダム、そしていくつかのせきがあります。ダムは川をせき止めてたくさんの雨水をたくわえることができます。川の水が少なくなったときや、水をたくさん使う季節にダムの水を流して使いますし、洪水も防いでくれます。



宇連ダム 貯水量 2,842万 m^3



大島ダム 貯水量 1,130万 m^3

ダムは大切な
やくわり
役割をしている
んだね！



ダムの一番調べてみよう！

一番多く水を貯めれるダム

日本…徳山ダム	総貯水量 6.6億 m^3	岐阜県揖斐郡 揖斐川
世界…カリバダム	総貯水量 1,806億 m^3	ジンバブエ共和国・ザンビア共和国 (アフリカ大陸の内陸部) ザンベジ川

参 考

佐久間ダム	総貯水量 3.2億 m^3	愛知県・静岡県 天竜川	日本で八番
アスワンハイダム	総貯水量 1,620億 m^3	エジプト・アラブ共和国	ナイル川 世界で三番

出典元 (財)日本ダム協会「ダム年鑑2009」



「せき」とは、水の流れをとめたり調節したりするところ。
 「水源」とは、水の流れ出るもと。
 「洪水」とは、川の水があふれ出ること。

(2) 川の水(水源林)

^{とよがわ}豊川の水はどこから流れてくるのでしょうか。それは、森林からです。森林に降った雨は、森林の土にしみこみます。森林の土は、葉っぱやかれた木がくさってできていて、スポンジのようにやわらかで、たくさんの水をたくわえることができます。



光が入る元気な森林(枝打・間伐後)

森林の土にしみこんだ^{あまみず}雨水は、ゆっくりと地下にしみこんで、何年もたってようやく川に流れ出します。もしかすると、わたしたちが今飲んでいる^の水は、何十年前に森林に降った^ふ雨水なのかもしれません。

このように、森林は降った雨を何年もかけて少しずつ川やダムにとどけてくれ、^{こうずい}洪水も防いでくれます。だから、雨が降らない日がつづいても、^{とよがわ}豊川の水はすぐにはなくなりません。

このような森林は「水源林」とか「緑のダム」とよばれています。

豊橋市をはじめ東三河の市町村が、^{とよがわ}豊川上流の「^{すいげんりん}水源林」を豊かにするために、水道料金の一部を使い森づくりに取り組んでいます。

ダムと同じはたらきをする森を、みんなも育ててね!

資料提供:
NPO法人森林真剣隊



^{しょくさい}植栽



^{したがり}下刈

(3) 地下水

^{あまみず}雨水は、地面にしみこみ何年もかけてきれいな地下水となります。豊橋市にはこの地下水を水道水にしている^{しせつ}施設が10か所あります。

一度にたくさんの水をくめませんが、ダムの水が少なくなったとき、^{きちょう}貴重な水となっています。